

第48回 船橋市地域公共交通活性化協議会

令和2年11月9日

1

1. 開会

2

2. 議事及び報告

(1) 令和2年度

公共交通不便地域解消事業の 実施状況について

3

公共交通不便地域解消事業実施箇所図



4

八木が谷地区実施状況

令和2年4月1日～令和2年9月30日
延べ183日間



1. 延べ利用者数
37,261人
(一日平均 203.6人)
2. 収支率 38.3%
(前年度 64.1%)
3. 延べ乗り残し乗客数
なし

5

丸山地区実施状況

令和2年4月1日～令和2年9月30日
延べ183日間



1. 延べ利用者数
54,259人
(一日平均 296.5人)
2. 収支率 64.0%
(前年度108.7%)
3. 延べ乗り残し乗客数
なし

6

田喜野井地区実施状況

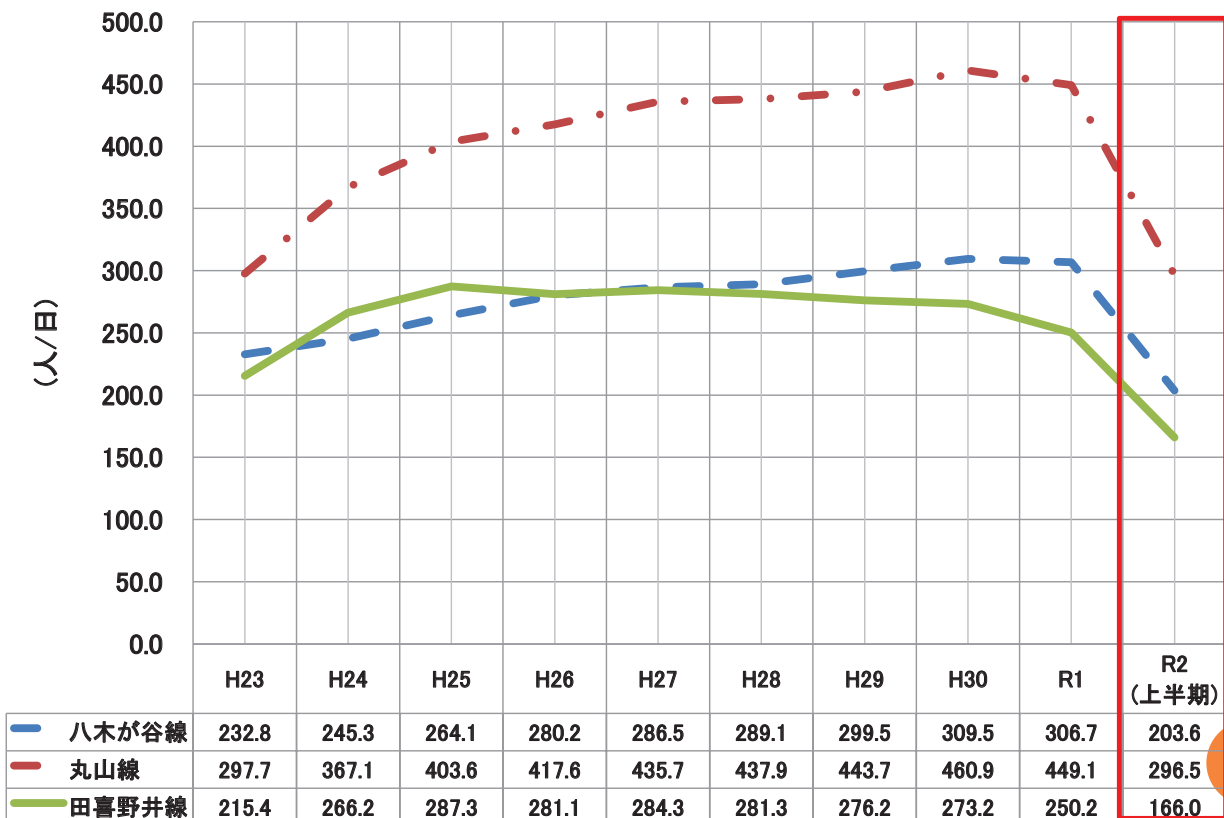
令和2年4月1日～令和2年9月30日

延べ183日間

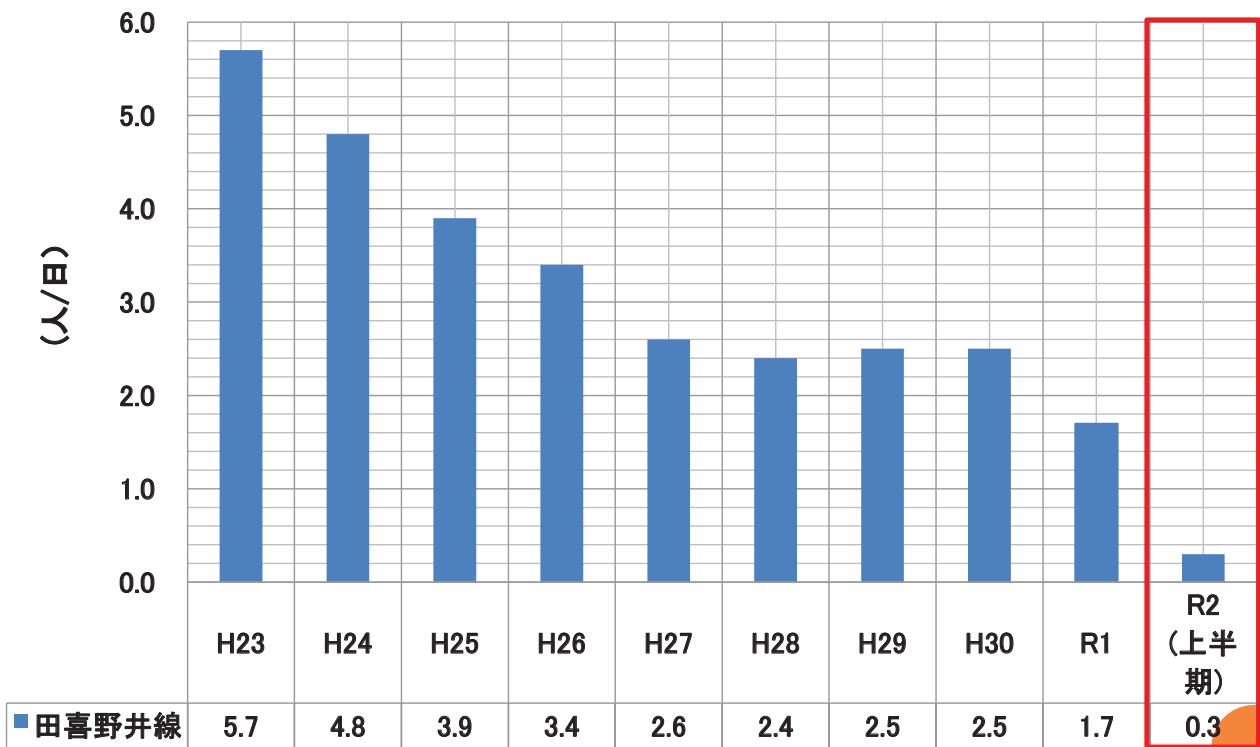


1. 延べ利用者数
30,378人
(一日平均 166.0人)
2. 収支率 35.1%
(前年度 58.0%)
3. 延べ乗り残し乗客数
54人(一日平均0.3人)

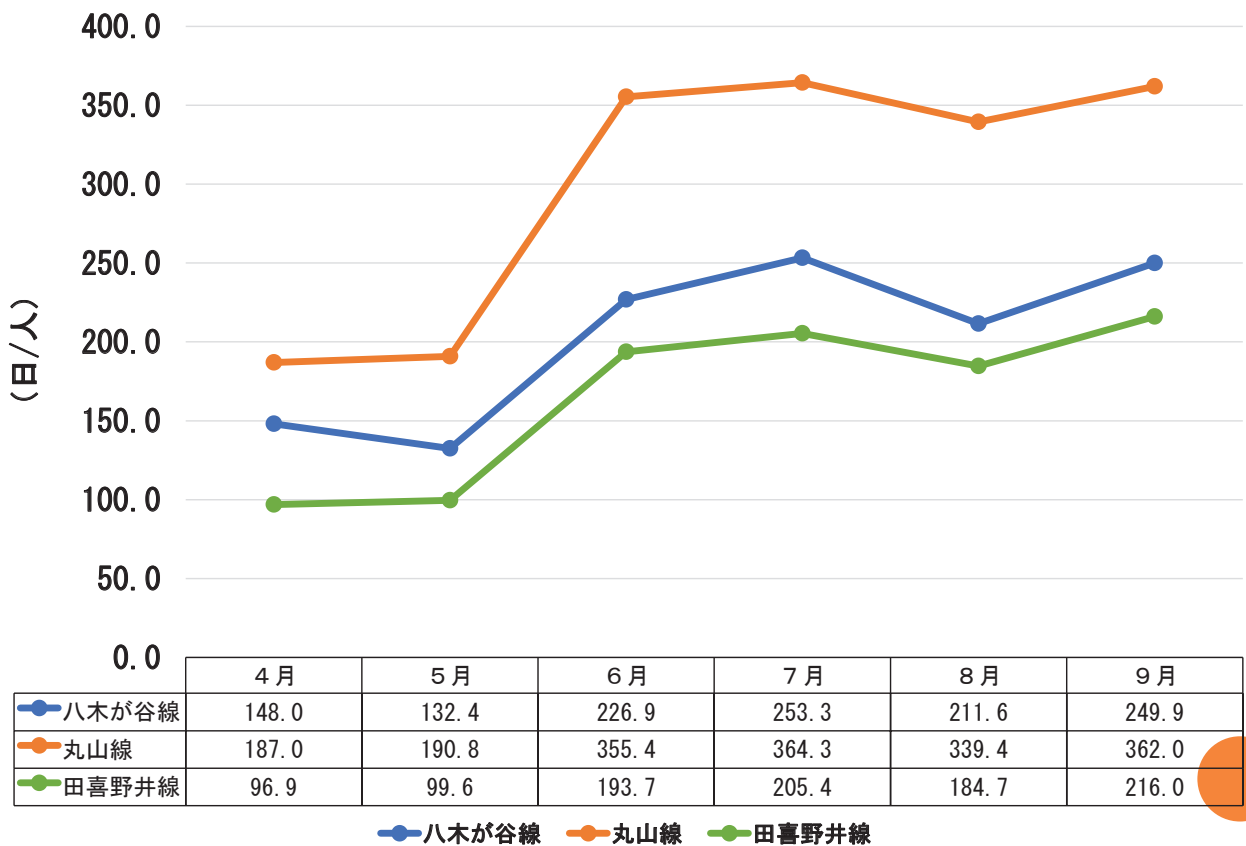
3地区の年度別1日平均乗車人数



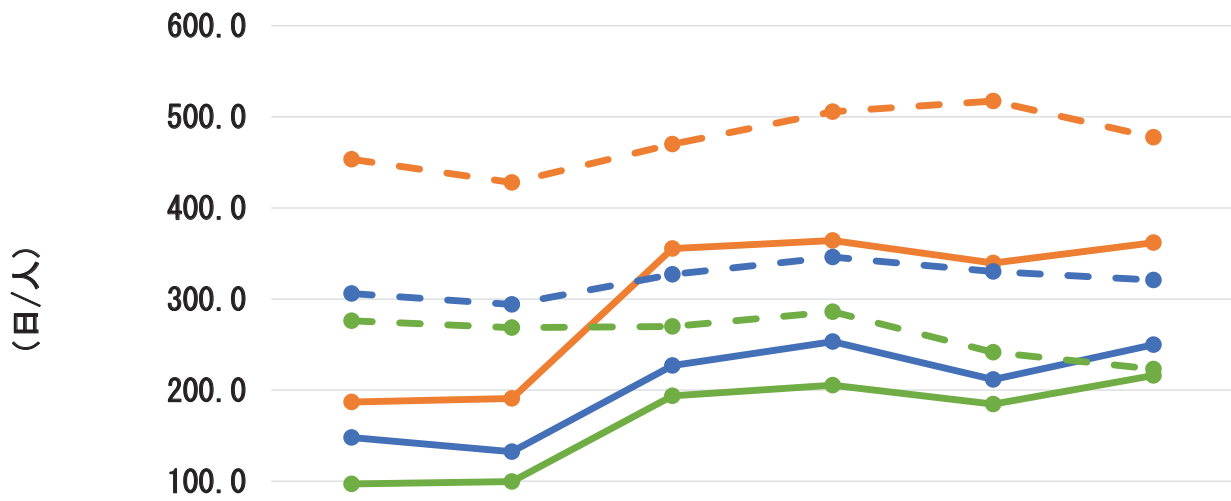
田喜野井線の年度別1日平均乗り残し人数



令和2年度 3地区月別1日平均乗車人数推移



【参考】前年度との月別1日平均乗車人数比較



	4月	5月	6月	7月	8月	9月
八木が谷線 (R2)	148.0	132.4	226.9	253.3	211.6	249.9
丸山線 (R2)	187.0	190.8	355.4	364.3	339.4	362.0
田喜野井線 (R2)	96.9	99.6	193.7	205.4	184.7	216.0
八木が谷線 (R1)	306.1	294.0	327.1	346.0	330.1	320.8
丸山線 (R1)	453.3	427.8	469.9	505.5	517.2	477.6
田喜野井線 (R1)	276.2	268.6	269.9	286.0	241.5	223.2

● 八木が谷線 (R2) ● 丸山線 (R2) ● 田喜野井線 (R2)
● 八木が谷線 (R1) ● 丸山線 (R1) ● 田喜野井線 (R1)

11

【参考】路線別前年度との1日平均乗車人数の増減

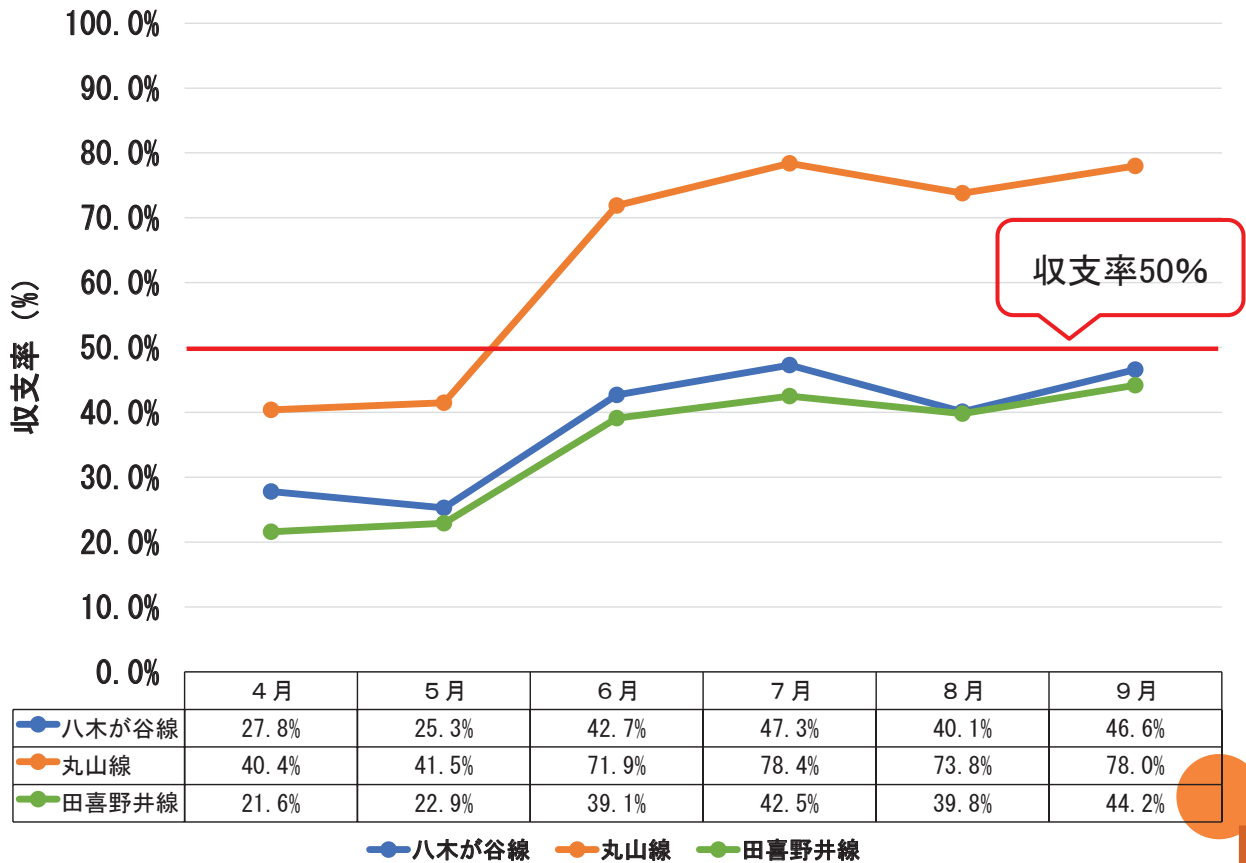
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
八木が谷線 (R2)	148.0	132.4	226.9	253.3	211.6	249.9
八木が谷線 (R1)	306.1	294.0	327.1	346.0	330.1	320.8
前年度との増減 (%)	▲51.6%	▲55.0%	▲30.6%	▲26.8%	▲35.9%	▲22.1%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
丸山線 (R2)	187.0	190.8	355.4	364.3	339.4	362.0
丸山線 (R1)	453.3	427.8	469.9	505.5	517.2	477.6
前年度との増減 (%)	▲58.7%	▲55.4%	▲24.4%	▲27.9%	▲34.4%	▲24.2%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
田喜野井線 (R2)	96.9	99.6	193.7	205.4	184.7	216.0
田喜野井線 (R1)	276.2	268.6	269.9	286.0	241.5	223.2
前年度との増減 (%)	▲64.9%	▲62.9%	▲28.2%	▲28.2%	▲23.5%	▲3.2%

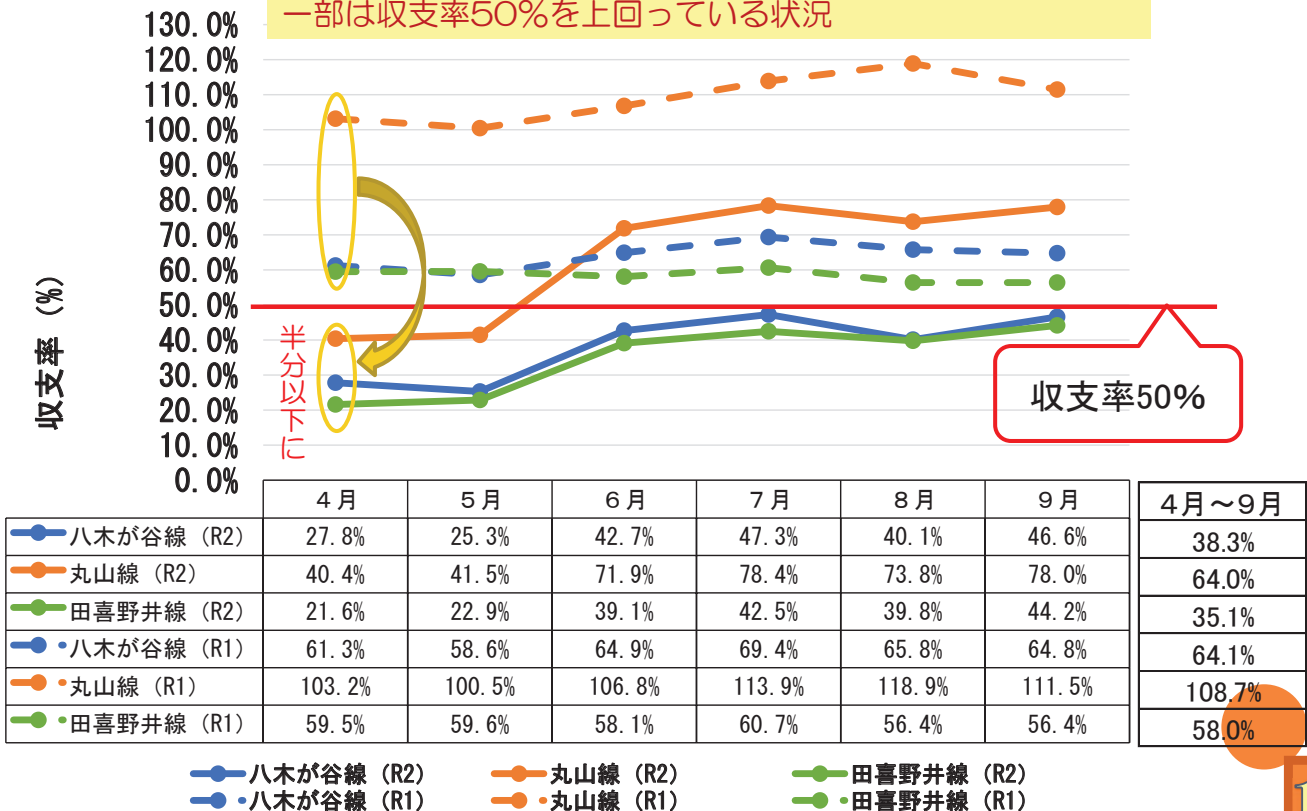
12

令和2年度 3地区月別収支率推移



【参考】前年度との月別収支率比較

緊急事態宣言がされた以降、前年に比べて収支率が半分以下
6月以降は7割ほどに回復
一部は収支率50%を上回っている状況

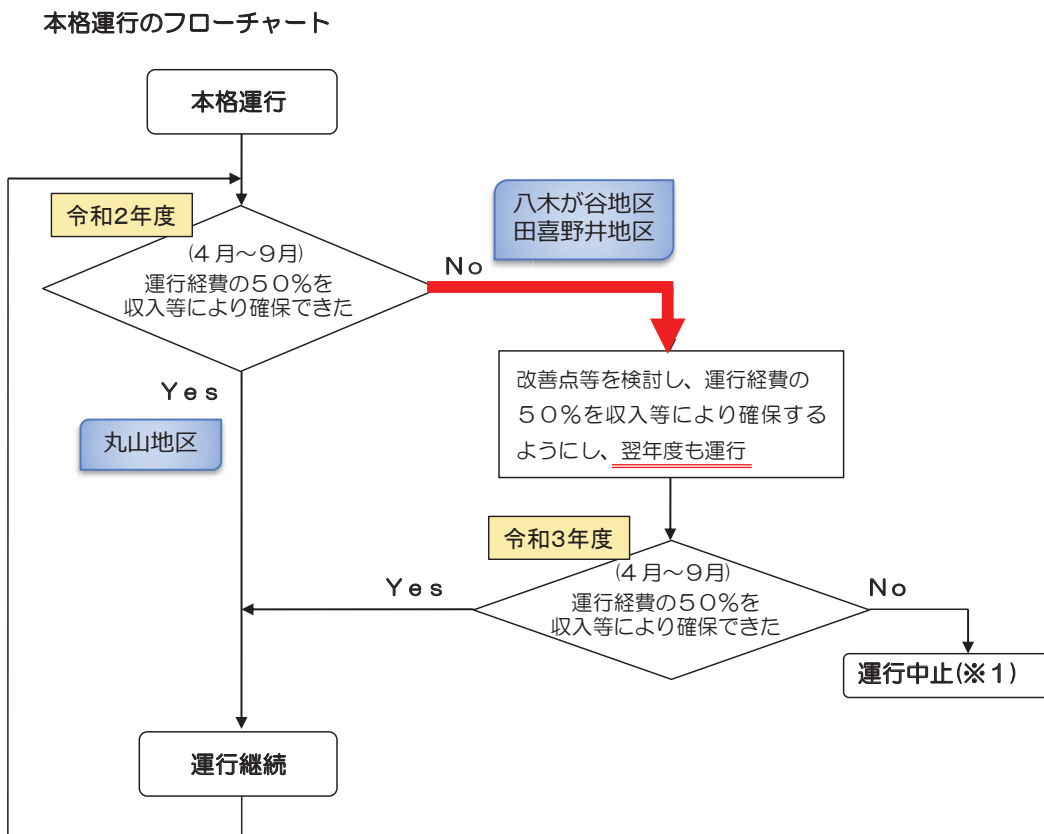


公共交通不便地域解消事業の 運行継続について

○各地区の収支率（4月～9月）

八木が谷地区	38.3%
丸山地区	64.0%
田喜野井地区	35.1%

15



※船橋市地域公共交通活性化協議会（地域公共交通会議）は適宜開催。

※1 船橋市地域公共交通活性化協議会（地域公共交通会議）にて運行中止の合意がある。

16

2. 議事及び報告

(2) 令和2年度

船橋市地域公共交通活性化協議会 の予算流用について

17

令和2年度 船橋市地域公共交通活性化協議会(予算流用)

支出の部

款	項	目	節	当初予算額	流用後予算額	増減額	備考
01	総務費			40,000	84,434	44,434	
	01	総務管理費		40,000	84,434	44,434	
		01	会議費	23,000	23,000	0	
			03 旅費	15,000	15,000	0	
			04 需用費	8,000	8,000	0	食糧費
		02	事務局運営費	17,000	61,434	44,434	
			04 需用費	0	0	0	
			05 役務費	17,000	61,434	44,434	切手、振込手数料
02	事業費			16,440,000	16,395,566	▲ 44,434	
	01	事業推進費		16,440,000	16,395,566	▲ 44,434	
		03	調査研究費	16,440,000	16,395,566	▲ 44,434	
			04 需用費	10,000	10,000	0	収入印紙
			05 役務費	0	0	0	
			06 委託料	16,430,000	16,385,566	▲ 44,434	
03	予備費			5,000	5,000	0	
	01	予備費		5,000	5,000	0	
		01	予備費	5,000	5,000	0	
			12 予備費	5,000	5,000	0	
支出合計				16,485,000	16,485,000	0	

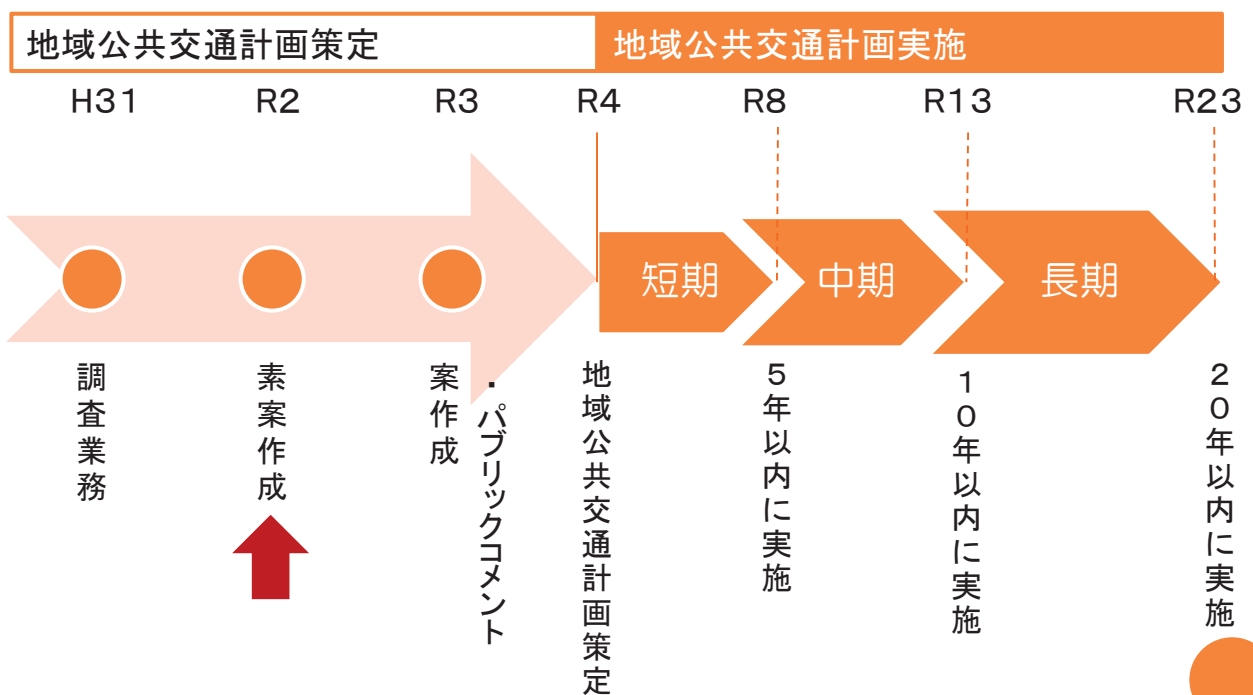
18

2. 議事及び報告

(3) (仮称)船橋市地域公共交通計画 素案作成業務について

19

地域公共交通計画のスケジュール



20

(仮称)船橋市地域公共交通計画素案作成業務 交通マップ(案)の作成について



- ・平成24年度に35,000部作成
- ・主に市外からの転入者へ配布
- ・バスルートや市施設、バスの乗り方等を記載
- ・作成後、更新していない
(現在、配布していない)

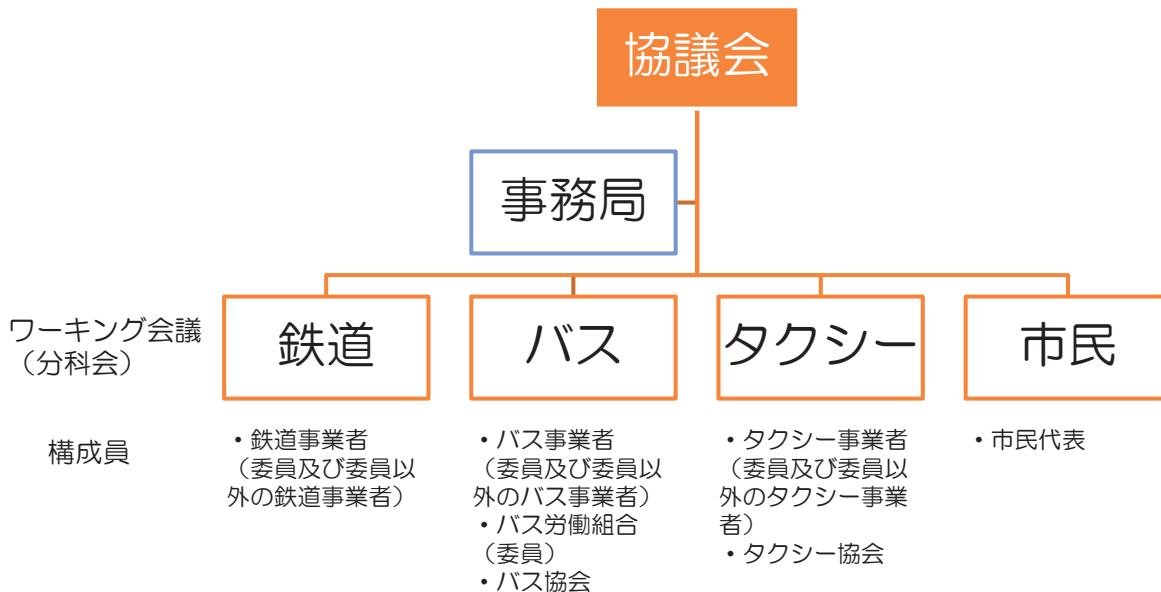


- ・10,000部作成
- ・来訪者やバス利用に不慣れな市民をターゲット
- ・バスの利用方法、乗り場等をわかりやすく
- ・運行状況検索システム(バスロケ)の案内等
(QRコードを用いて簡単に情報発信)
- ・東京や成田空港等の鉄道網の案内
- ・広告枠を設け、マップ作成費を軽減
- ・店舗や観光施設等とのコラボも検討
- ・継続的に更新予定(1~2年)

市内施設に明るく、広告を用いた冊子作成の実績のある、船橋市観光協会へ作成を依頼

21

(仮称)船橋市地域公共交通計画素案作成業務 ワーキング会議(案)について



22

3. その他

- ・ 新型コロナウイルス感染症による影響について

23

■ コロナ禍における公共交通の現状

新型コロナによる影響について

前回の会議以降、

- 世界的な新型コロナウイルスの感染拡大に見まわれ、社会全体として、大きな問題となった。
- 外出自粛期間だけでなく、現在もコロナ禍。社会全体が、テレワークや混雑を避ける行動を経験。人々の生活や外出状況は、現在も、感染拡大前とは異なる。
- 公共交通にも、新型コロナによる多大な影響。人々の移動手段である公共交通は、外出自粛期間中も運行、利用客は激減し、その後も回復していない。
- 船橋の公共交通も同様に、回復していない。そのような中、公共交通では、換気・除菌等の作業や、利用客への混雑回避や感染防止対策徹底の呼び掛け等に、日々、取り組まれている。



以降に、現状に関する参考データを示します。

24

■コロナ禍における全国的な公共交通の現状

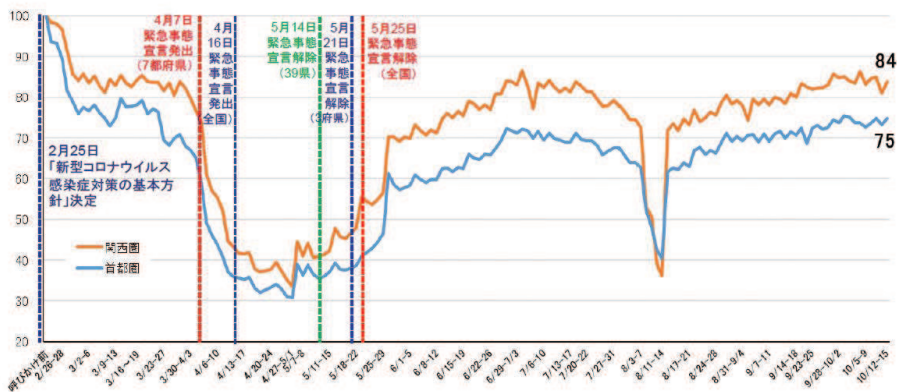
コロナ禍における移動の変化

- 首都圏、関西圏の駅の利用状況について、緊急事態宣言が発出されて以降、駅利用者数は増加しているが、依然として感染症拡大以前の駅利用者数に達していない。

駅の利用状況(首都圏・関西圏:速報値)

国土交通省

テレワーク・時差出勤呼びかけ後のピーク時間帯の駅利用状況推移



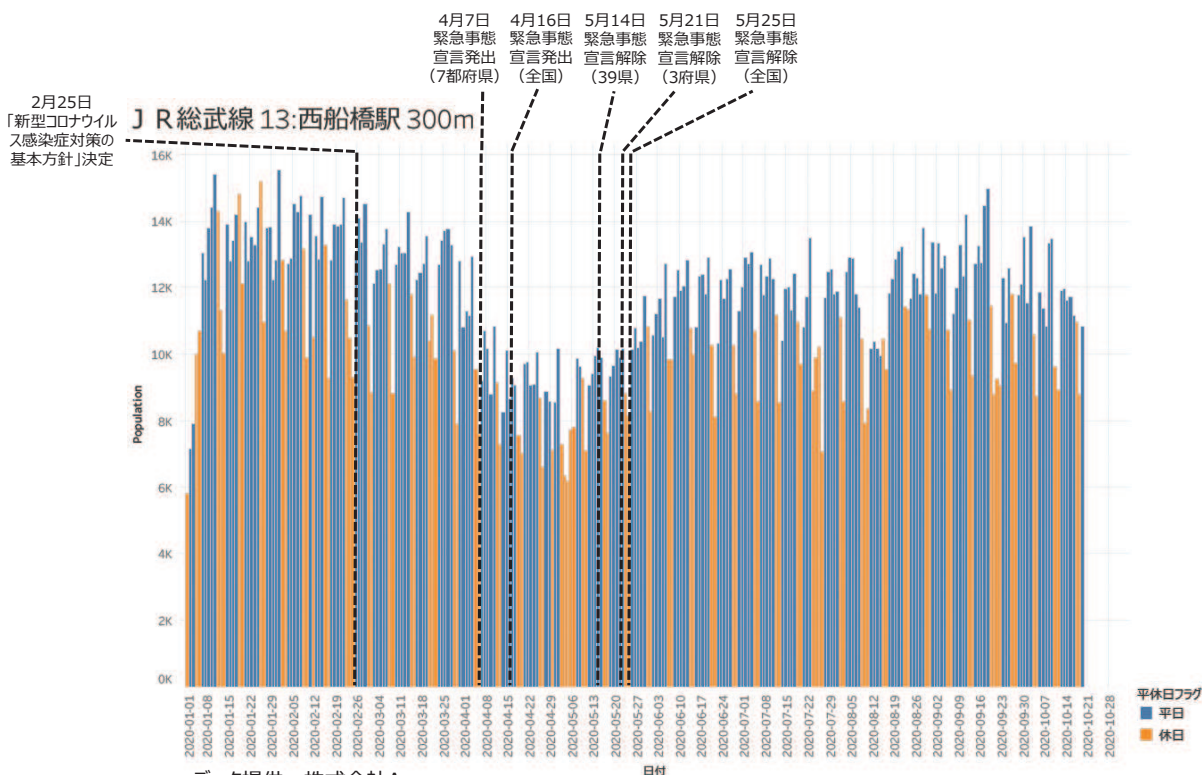
※JR(JR東日本、JR西日本)、大手民鉄(東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神)の主なターミナル駅における平日ピーク時間帯の自動改札出場者数の減少率の平均値
 ※数値は、呼びかけ前を100とした場合の指数
 ※「呼びかけ前」は、2月17日の週の特定日
 ※ピーク時間帯は、各駅において7:30~9:30の間の1時間で最も利用者が多い時間帯
 ※主なターミナル駅は、以下のとおり
 首都圏: 東京、新宿、渋谷、品川、池袋、高田馬場、大手町、北千住、押上、日暮里、町田、横浜
 関西圏: 大阪、梅田、京都、神戸三宮、難波、京橋

国土交通省ホームページより引用

■コロナ禍における全国的な公共交通の現状

コロナ禍における移動の変化

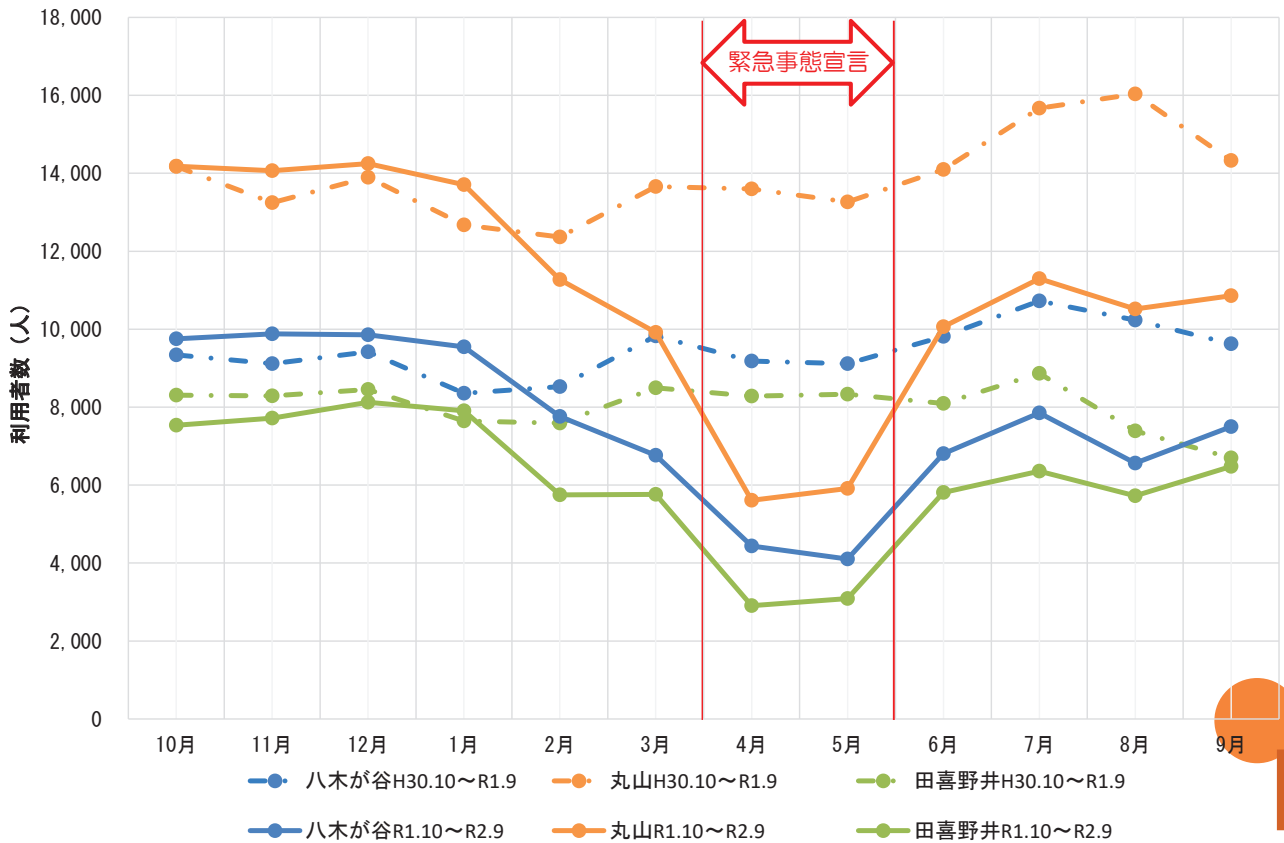
- 西船橋駅周辺の流動人口について、緊急事態宣言が発出されて以降、流動人口は増加しているが、依然として感染症拡大以前の流動人口に達していない。



データ提供: 株式会社Agoop

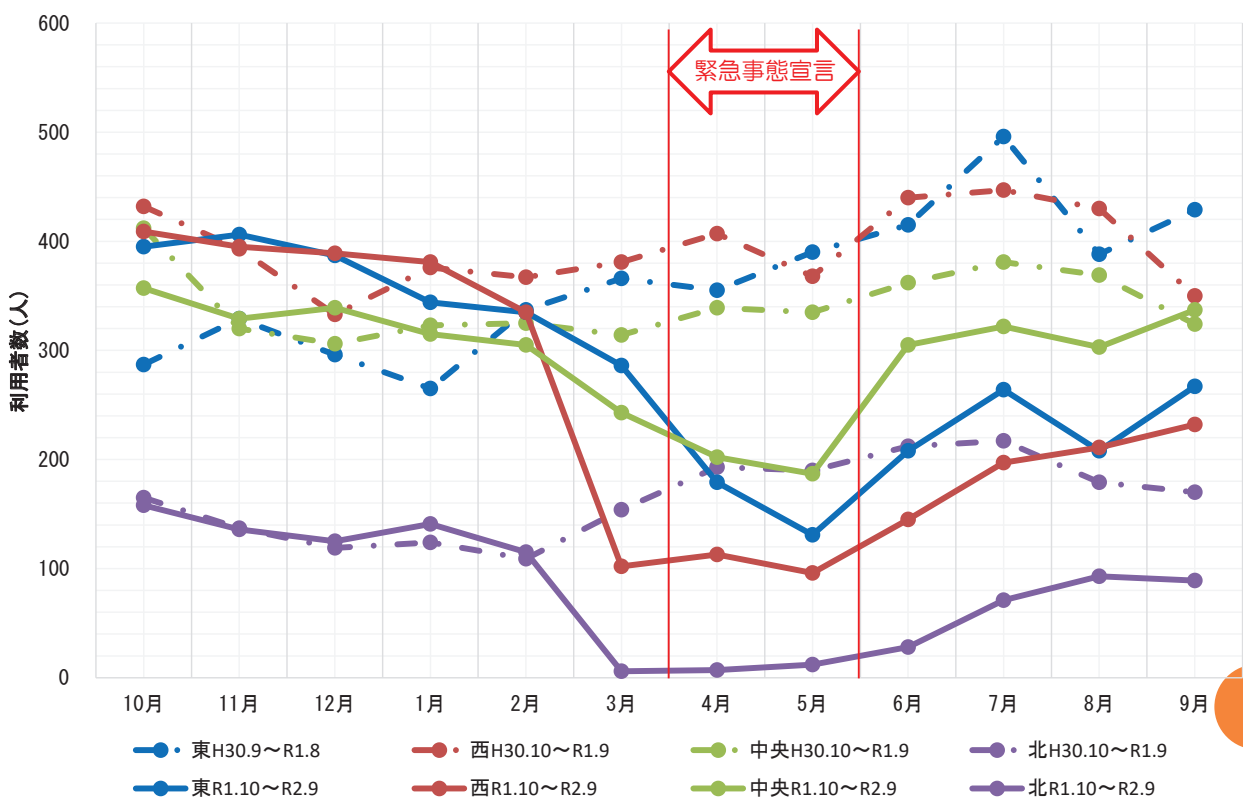
公共交通不便地域解消事業 3地区路線別利用者数比較

3地区路線別月別利用者数



交通不便地域支援事業(高齢者支援協力バス) 老人福祉センター別利用者数比較

老人福祉センター別月利用者数



3. その他

- ・ 今後のスケジュールについて

4. 閉会